

## 令和 6 年能登半島地震

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

### 石川県両師会災害対策本部の活動経緯（令和 6 年 4 月）

- 4月4日 富来活性化センター 吉村支所長、能登中部保健福祉センター 市塚健康推進課長、  
県医療対策課 田島氏に 3月 20日・24日・31日 活動報告書をメール送付。
- 4月7日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動（第6回）。  
日時；9時30分～17時 場所；診察室 活動人数7名（鍼灸マ会4名/富山県鍼  
灸マッサージ師会1名/福井県鍼灸マッサージ師会1名/福井県鍼灸師会1名）  
利用者；24名（被災者22名/支援者2名）
- 4月10日（20：30～21：25）第5回災害対策委員会
1. 活動報告 ・富来活性化センター活動 ・日本財団災害支援金
  2. 今後の災害支援活動について（5月以降） ・場所 ・期間
  3. 県協定申請関連について
  4. 外部からの義援金・支援金について
  5. その他
- ・出席者は、定池、上野、中村、松田（鍼灸師会）、常盤、田中、中田、太田（鍼灸マ会）の8名。
- 4月11日 常盤本部長がスポセン1.5 避難所にて災害担当（県健康福祉部長寿社会課 担当  
課長）吉岡幸治氏に挨拶。スポセン避難所での鍼灸マッサージ支援活動の石川県  
両会での引継ぎを伝え了承。
- 4月12日 田中事務局長が再度、吉岡氏に電話連絡。5月6日（月祝）からのスポセン鍼灸  
マッサージ支援活動の再開を確認。活動場所、荷物の置き場所は DSAM 活動と  
同じ。活動時間は10時～17時。
- 4月16日 県協定3月分の活動に対する日当・交通費・資機材費申請書を医療対策課に提  
出。
- 4月17日 富来活性化センター 吉村支所長、能登中部保健福祉センター 市塚健康推進課  
長、県医療対策課 田島氏に4月7日報告書（富来支所へは利用者情報も）をメ  
ールにて送付。
- 4月14日 富来活性化センター避難所活動は金沢大学附属病院の医師・看護師の健診等の実  
施により中止。

4月18日 両師会が今後活動を継続の場合、看護師と同様の「健康管理」という形で災害救助法の範囲内で協定継続可能となる。

4月21日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動（第7回）。  
日時；9時30分～17時 場所；診察室 活動人数6名（鍼灸師会3名/鍼灸マ会2名/富山県鍼灸マッサージ師会1名） 利用者；16名（被災者16名/支援者0名）。

4月22日 会員へスポセン1.5次避難所の支援活動参加募集を案内（鍼灸マ会）。

4月24日 志賀町役場富来支所 吉村支所長と電話連絡・協議。現在、避難所避難者38名。仮設住宅等へ移住し人数も減少のため4月29日をもって鍼灸マッサージ支援活動の終了を確認。

能登中部保健福祉センター市塚氏（健康推進課長）、県医療対策課 田島氏へ連絡。  
今後、センターでの鍼灸マッサージ対応は志賀町の山崎会員に電話で依頼。吉村支所長にもその旨連絡。

吉村支所長、能登中部保健福祉センター 市塚健康推進課長、県医療対策課 田島氏に4月21日 活動報告書（富来支所へは利用者情報も）をメールにて送付。

4月25日 会員へスポセン1.5次避難所の支援活動参加募集を案内（鍼灸師会）。

4月28日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動（第8回）。  
日時；9時20分～17時 場所；診察室 活動人数6名（鍼灸師会1名/鍼灸マ会5名） 利用者；18名（被災者15名/支援者3名）。

4月29日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動（第9回；最終活動）。  
日時；9時30分～17時 場所；診察室 活動人数6名（鍼灸師会2名/鍼灸マ会2名/富山県師会1名/静岡県鍼灸師会1名） 利用者；17名（被災者17名/支援者0名）。荷物等完全撤収。

4月30日 志賀町役場 吉野富来支所長への御礼の連絡。

**【富来活性化センター避難所鍼灸マッサージ支援活動集計】**

期間：令和6年3月10日（日）～4月29日（月祝）までの日曜祝日

活動日数：9日間 施術者：60名（延べ人数）

利用者：192名（被災者168名/支援者24名 延べ人数）



(報告：事務局長 田中 良和)